

他の教育教材事例（租税教育）

- ①高校生向け租税教育教材（国税庁）
- ②中学生向け租税教育教材（東京都主税局）



私たちの生活と財政の役割

高校生用租税教育教材



高等学校学習指導要領準拠
協力：全国公民科・社会科教育研究会

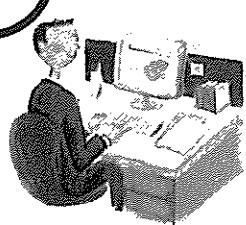
1. 暮らしの中の税①



わたしたちの身の回りには、さまざまな税があります。
どんな税があるだろう？



所得税



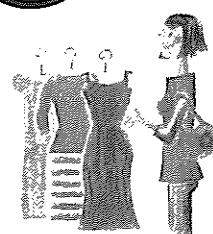
会社でもらう給与明細書。
所得税や住民税が給料から
差し引かれている。

酒税
たばこ税



清酒・ビール・ウィスキーなどの
アルコール飲料や、たばこには税がかかる。

消費税



洋服や日用品を買ったりすると、
5%の消費税がかかる。



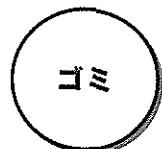
みんなで考えてみよう！

他にはどんな税があるのだろう？

1. 暮らしの中の税②



わたしたちの身の回りには、国や都道府県、市（区）町村による
「公共サービス」や「公共施設」があります。



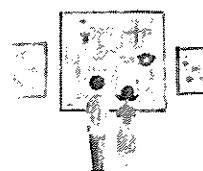
指定のゴミ袋に入れて所定の日に出せば、
ゴミ収集車がタダで持っていってくれる。



安全を守ってもらうのに、手数料は払わない。



みんなが利用でき、有意義な生活を送れる。



みんなで考えてみよう！

なぜ無料で公共サービスを受けたり、公共施設が利用できるのだろう？

2



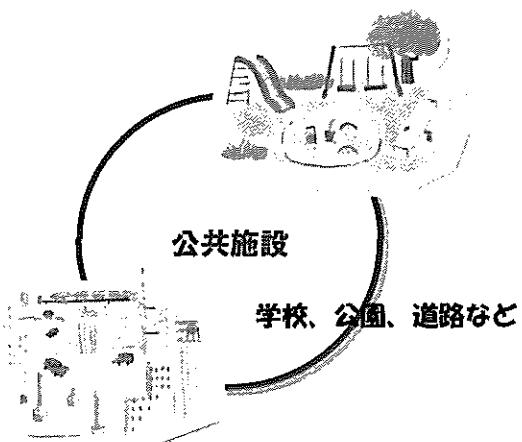
1. 暮らしの中の税③

「公共サービス」や「公共施設」を提供するためには、たくさんの費用がかかります。



公共サービス

警察、消防、
ゴミ収集、福祉など



公共施設

学校、公園、道路など



みんなで考えてみよう！

「公共サービス」などの利用料を徴収できないとすれば、
これらの費用はどうやってまかねうのだろう？

3